

科 目	倫理	単 位 数	2 単位	年 間 授 業 時 間	70 時間
対象学年・(組)	2年(1~6組)	使用教科書(出版社)	高等学校改訂版『倫理』(第一学習社)		
	必修	副教材等	最新倫理資料集(第一学習社)		

教 科 担 当 者
-----------

指導内容【年間授業計画】	具体的な指導目標【年間授業計画】	指導内容【年間授業計画】	具体的な指導目標【年間授業計画】	指導内容【年間授業計画】	具体的な指導目標【年間授業計画】	
4月		インドの思想文化	・インドの人々ほどのような死生観を持っているかを理解する。 ・ゴータマの教えは深い思索を続ける生き方そのものであることを理解する。			
		ゴータマの教説	・「ゴータマの言葉」を味わい、仏教の基本である人間どうしが支え合いながら生きていくという視点を読み取り、縁起や四諦とは何かを理解する。	プラグマティズムの思想	・主体的なあり方は、努力を伴う生き方であることを、実存主義の思想から考察する。 ・略伝や図版を活用して、思想家の人生を振り返りながら思想内容を理解する。	
	授業料エンゲージメント 青年期とは何か	・倫理を学習する意味や重要性について理解する。 ・青年期の発生や内容について理解する。	仏教思想の展開	・その後の仏教の発展について、特徴を理解する。	心の深層と無意識	・フロイトとユングの思想をとおして、人間の精神の無意識という自覚できず理性でとらえられない領域を理解する。
	青年期の特徴について	・ライフサイクルにおける青年期の意義や特徴を理解する。	儒家の思想	・『論語』の中の孔子の言葉から、中国の思想の根本を読み取る。	生の哲学と現象学	・人間の意識に現れる現象をありのままとらえる思想について理解する。
青年期の課題と自己形成	・現代の青年期の発達課題を考えるとともに、青年期をめぐる問題と自己実現を理解する。	道家の思想	・西洋と東洋の源流にある思想を比較して、人間の生き方について説いている内容の共通点と相違点を調べ、発表や討論をする。	近代的理性と言語	・レヴィンストロースらの著作を読み、現代の思想が発見したり注目したりしてきたものは何かを理解する。	
5月	欲求の構造と防衛機制	・適応と防衛機制、パーソナリティの形成について理解する。	日本仏教の展開	・日本の思想や文化に大きな影響を与えている仏教や儒教が日本にどのように伝えられ、どのように変容していったのか、その大きな流れを把握する。	正義と社会	・ロールズ、センらの思想から、私たちは何を学ぶことができるかを考察し、これからの生き方につなげる。
	自己形成の課題	・生きることの意味や生きがい、与えられるものではなく自身で構築していくものであることを理解する。	日本儒学の展開	・日本人の価値意識と儒教との関連について理解する。	生命への畏敬	・実践された倫理を貫いた人々の生き方に対する興味・関心を高め、生命への畏敬や本当の愛とはどのようなものかを理解する。
	自然哲学	・ギリシャの思想家のものの見方・考え方を理解することにより、古代ギリシャの思想は、私たちにどういったような意味を持つのかを考える。	町人意識のめざめと庶民思想	・義理と人情、儉約と正直、勤労の倫理など、現代に流れる思想に対する興味・関心を高め、日本人の庶民思想や勤労倫理の特質はどこにあるのかに気づく。	生殖医療と遺伝子操作	・クローン技術、遺伝子組換え、脳臓器移植、安楽死と尊厳死、医療における自己決定権などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察する。
	ソクラテス	・ソクラテスの「無知の知」や「ソクラテスの言葉」から「よく生きることこそ大切である」という彼の信念を読み取る。	中間考査		脳臓器移植と再生医療	・生命をめぐる問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。
	中間考査		西洋思想との出会い	・幕末思想の特質や文明開化が日本の社会にどのような変化をもたらしたか理解する。 ・日本の近代思想がどのように展開して		
6月	プラトン	・プラトンのイデア論や想起説、魂の三部分説や哲人政治をとおして彼の思想を理解する。	近代の科学革命と自然観	・近代の科学はどのような背景から生まれてきたのかを理解する。	学年末考査	
	アリストテレス	・アリストテレスの現実主義の立場を、プラトンのイデア論と対比しながら理解する。	近代の科学革命	・ベーコンやデカルトによる科学的な考え方の特色を理解し、科学技術の発達と自然との共生についての興味・関心を高める。	有限な地球環境	・地球規模だけでなく、身近なところで起こっている環境問題について調べ、有限な資源を未来の世代にも配分するには何をすればよいか考察する。
	ヘレニズム思想	・ポリス中心の考え方にかわり、個人の内的平安を求める思想が現れたことを理解する。	経験論と合理論	・ベーコンやデカルトより自然は人間の手によって操作できるとする新しい自然観をつかむ。 ・経験論と合理論の考え方の特色はどこに差があるのか、自分の課題とのかげで整理する。	生物多様性と自然との共生	・地球環境問題、環境保護活動、循環型社会をめざす取り組み、将来の世代に対する責任など、様々な問題について多面的・多角的に考察する。
	ユダヤ教	・世界で起こっている宗教を原因とする争いを調べ、宗教とは何かについて考察する。 ・哲学や宗教の意義を考え、先人の生き方を振り返りながら学ぶ。	社会契約の思想	・近代ヨーロッパの社会契約説を通して、民主社会の成り立ちを理解し、民主社会を実現した社会契約の思想について、多面的・多角的に考察する。		
	キリスト教	・イエスの思想をユダヤ教と対比させて神の愛・律法内面化を中心に理解する。 ・キリスト教的な生き方など特徴を、興味を持って探究する。	人格の尊厳と自由(カント) 人倫と自由の実現(ヘーゲル)	・カントやヘーゲルの思索の内容を整理して理解する。		
7月	期末考査		期末考査			
	キリスト教の発展	・キリスト教が愛の宗教であるといわれるのはなぜかを多面的・多角的に考察する。	功利主義	・ベンサムやミルの幸福に対する考え方の違いを理解する。 ・功利主義の思想からよく生きるとはどのようなことかを理解し、自分の生き方につなげる。	<b>【評価の観点・方法】</b> <b>【評価の観点】</b> ・授業での発言や取り組み、定期考査、課題等の提出物より総合的に評価する。  <b>【評価方法】</b> ・授業時のワークシート、定期考査、提出物	
	イスラーム教	・イスラームの誕生やムハンマドの教えにはどのような特徴があるのかを理解する。 ・メッカの方向を調べるなどして、イスラームの基本的教義(六信・五行)を考	社会主義 実存主義	・社会主義の生まれた背景とその発展過程、現代の社会主義について考察する。 ・実存主義が追究した生き方とはどのようなものかを理解する。		